



図1 中尊寺で見つかった古道の位置

これら2カ所で見つかった道路跡は、奥州藤原氏の政庁である平泉館（柳之御所遺跡）方面から金色堂へ向かう道路の一部と考えられます。12世紀の平泉の道路は路面が土のものが多くですが、寺院や柳之御所遺跡周辺では石敷が多く見つかるとの傾向にあります。



©2013岩手県 ケロ平 designed by センヴェル

写真2 51次調査区付近に残る古道(西から) 現在でも地形として道路跡が残っています。



写真3 61次Ⅱ期調査の道路跡(西から)

左側の赤の点線が12世紀の道路跡で北側には道路側溝が見つかりました。また、右側の点線は中世～近世の道路跡で、南側は現道に壊されていますが北側では道路側溝が見つかりました。



写真1 51次調査で見つかった石敷道路跡(東から)

この場所では12世紀の道路跡のほか、中世～近世の道路跡も見つかり、古くから金色堂の参道として造り替えられながら使われていた様子が見えます。



# 発掘最前線 平泉を掘る

## 中尊寺の古道 第51・61次Ⅱ期調査

第51次調査は現在の讃衡蔵の建設前に行われた発掘調査で、江戸時代に少なくとも3回の造成を行った様子を確認しました。江戸時代以前の遺構の多くは削られて失われていましたが、12世紀の石敷道路跡や道路側溝は壊されずに残っていました。地形としても道路の跡が残り、写真2、金色堂の正面へ続くと考えられます。

第61次Ⅱ期調査は、町道戸内線沿いで行われました。調査により、大正8年に造られた町道の北側に並行する形で中世から近世に使われていた石敷道路跡が見つかり、それよりやや北側で12世紀の石敷道路跡が見つかりました。

## 新採用職員 紹介します

町は4月1日、新たに3人を町職員に採用しました。町民の皆さんのお役に立てよう頑張ります。よろしくお祈りします。



子育て支援課 社会福祉士 小野寺 希

平泉文化遺産センター 文化財調査員 村上 知穂

建設水道課 技師補 岩淵 有希

## Interview

子育て支援課を訪れた町民に聞きました。



静絵さん(6区) 友絢さん(生後11カ月)

保健師の方など職員の皆さんが気さくに話しかけてくれ、安心できます。室内の雰囲気も良く、来やすいと感じます。

毎月「ピヨピヨ広場」(1歳未満の乳児と保護者対象の交流の場)が開催されるので、参加してみたいです。



保健センター2階にある窓口では、保健師や社会福祉士などの職員が、子育てのさまざまな相談に応じています

## 子育て支援課が始動

町は、町民福祉課と保健センターに分かれていた子育てに関する業務をまとめ、子どもや子育て世帯に寄り添った施策を総合的に推進するため、4月に保健センター2階に「子育て支援課」を設置しました。

児童福祉と母子保健の2係体制で、児童手当▽児童扶養手当▽保育所の入所手続き▽子育て相談▽児童虐待▽児童クラブ▽乳幼児健康診▽子どもの予防接種

などを担当します。フロアには、プライバシーに配慮した相談室を設け、妊娠や出産に関すること、子育ての悩みや子どもの発達などの相談について、安心してゆっくりと相談ができるようになりました。児童福祉に関する各種手続きも受け付けていますので、ぜひ気軽にお越しください。(平日午前8時30分～午後5時)

問い合わせ先 子育て支援課 34-5548

## 史跡指定地での現状変更は許可が必要です

町内には9つの国指定史跡・名勝があります。これらは我が国の歴史を理解したり、景観上や芸術上欠くことのできない重要なものです。

史跡や名勝は現状のまま保存することが原則です。やむを得ず現状を変更しようとする場合は許可が必要なため、早めに平泉文化遺産センターまで連絡をお願いします。

問い合わせ先…平泉文化遺産センター ☎46-4012

### 許可申請が必要な現状変更の主な事例

- ▷建築物の新築・増築・改築、改修、解体
- ▷工作物(仮設物含む)の設置や改修
- ▷管や側溝・ケーブルなどの埋設や改修
- ▷土木工事などによる掘削や造成
- ▷地面の舗装
- ▷道路や水路の改修、補修
- ▷樹木の伐採

※上記以外にも許可が必要な場合があります。詳しくは平泉文化遺産センターに確認してください。

### 町内の史跡・名勝指定地

特別史跡	中尊寺境内 毛越寺境内附鎮守社跡 無量光院跡
特別名勝	毛越寺庭園
史跡	柳之御所・平泉遺跡群(柳之御所遺跡・倉町遺跡) 金鶏山 達谷窟
名勝	旧観自在王院庭園 おくのほそ道の風景地(金鶏山・高館・さくら山)